

SIFA ニュース



NO. 105

2020 年度 夏号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

SIFAに寄附を頂きました！

[マスクの寄附]

県内の中国人経営者(岡田商事・日本旅研・平和製粉・迎春餃子・富樫金属・瑞福祥鈴鹿店等)などで構成する県華僑華人新型コロナウイルス感染症対策協力会より、マスク千枚を寄附して頂きました。

頂いたマスクは、ブラジル人・ペルー人・中国人のお母さんたちで構成する子育てファンファンサロンと、フィリピン人のいくつかのグループで構成される MIFILCO、多文化共生ネットワークのエスペランサ、そして、災害ボランティアとしても活躍するスリランカのグループ JUF にそれぞれ200枚ずつお渡ししました。

また、市内でボランティアさんが運営する日本語教室などにも、必要に応じてお配りする予定です。

中国の協力会さま、ありがとうございました♪



内容

[報告]

- マスク等の寄附について
- 多言語災害ボランティア意見交換会開催

[お知らせ]

- 多言語災害ボランティアオンライン研修会開催
- 鈴鹿市ベルフォンテン市青少年相互交流について
- 外国につながる児童の学習支援教室のボランティア募集
- 日本語ボランティア養成講座について
- 市民ギャラリー写真展
- 料理講座レシピ



[フェイスシールドの寄附]

鈴鹿バイロータリークラブさまから、フェイスシールドを50個頂きました。夏休み時の学習支援など、SIFAの事業で必要な時に使用させて頂きます。

また、フェイスシールドが必要な方がいらっしゃいましたら、一度、SIFAまでご相談下さい。

鈴鹿バイロータリークラブさま、ありがとうございました。



多言語災害ボランティア研修について

*多言語災害ボランティア オンラインでの意見交換会を開催しました。

6月6日(土)、Zoomを使って多言語災害ボランティアの意見交換会を行いました。

今年度の活動予定や、コロナ禍での災害時の避難について県や市から出されている次の情報を共有しました。

- 避難するときは、垂直避難や、避難所以外に友人宅や車中泊も選択肢として考えておくこと。
- 県では、民間宿泊施設を活用することも検討中。
- 避難所では、検温を実施し、できる限り3密を避けて、マスク着用や手指の消毒をする。

その後グループに分かれ、課題と感じている事や具体的にどのような事をしていくか話し合いました。代表的な意見を紹介いたします。



災害時に被災者が相談したいとき、電話で通訳を介した三者通話ができないか？
若いボランティアを増やしたり、多言語ボランティアを知ってもらうために交流会を開催する。
周知するためにパンフレットを作成する。
平時からのコミュニティづくりやすでにあるコミュニティにどうアプローチするか検討する。
避難の形がコロナ禍で変わっていくので、それに合わせたものを考えていく必要がある。

*多言語災害ボランティア オンライン研修会を開催します。

2年前、西日本豪雨の際大きな被害を受けた岡山県倉敷市真備地区において、支援活動を展開した総社市の外国人防災リーダーグループの方から、活動の紹介や日本人との協働についてお話を伺います。

テーマ： 在住外国人と一緒にいる被災者支援

講師： 譚 俊偉さん (総社市・ブラジル人)

とき： 7月19日(日) 13:30-15:00

方法： Zoomを使ったオンラインセミナーです。

※参加には、インターネットにつながるPC・タブレット・スマホが必要です。

申込み： 7月16日(木)までに名前、電話番号、話せる言葉(やさしい日本語も可)を書いて

メールで SIFA(✉sifa@mecha.ne.jp)まで

※後日、Zoom用の URL と パスワード等をお送りします。

※本事業は、キリン福祉財団から助成を受けて実施いたします。

ケータイからの申し込みは、こちらから→ → → → → → → →



↑ 譚 俊偉さん



鈴鹿市ベルフォンテン市 青少年相互交流事業について

ベルフォンテン事業は、現在、隔年で、派遣と受け入れを繰り返しており、本年は、ベルフォンテンからの派遣生を受け入れる年でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本年の受け入れは、残念ながら中止となりました。

この事業は、1988年より脈々と受け継がれてきており、特にここ十数年、派遣生たちは、この事業を通して日本・三重県・鈴鹿市の伝統・文化・産業について再認識・勉強し、英語のスピーチのみならず、グローバルなものの方・多角的な考え方など、たくさんのゲストの力をお借りして、かなり多くの研修を積み重ねています。

しかし、どれだけ研修を重ねても、やはり一番大切なのは、実際にその国に行って、自分の目で人々の暮らしの様子・ファミリーの在り方・教育・働き方等を見て、社会全体を知ることです。百聞は、一見にしかず。行ってみなければわからないことがたくさんあるのです。

これまで、相互に派遣された生徒の数は595名にも上ります。32年もの長きに渡って培われた両市の絆が、コロナで断ち切られてしまわぬよう、今一度、この事業の大切さを再確認して今できることをしたいと思います。

そういうわけで、本年は、8月2日(日)に、ベルフォンテン市とオンラインで繋いで、昨年度の鈴鹿の派遣生とベルフォンテンのホストファミリー他関係者とZoom交流会を行います。派遣生が、この事業に参加して得た成果や現在の生活、これから先の目標などを英語で語り、ホストファミリーのみなさんから、ファミリーの近況やホストファミリーをして良かったことなどコメントを頂きます。

コロナで不自由が続いていますが、両市の市民レベルの友情が断ち切られることのないよう、これまでの絆を大切に、前向きに交流を続けたいと思います。



外国につながる児童の学習支援教室のボランティア募集!



外国につながる子どもたちにもコロナの影響が出ています。家庭で日本語を使わず、日本語を忘れてしまったり、自宅学習では、問題の分からないところを親に聞くこともできなくて課題を進められなかったりした子がいました。

また、学校が始まって、これまでの学習を取り戻すために、平時よりも学習のスピードが早く、学校の時間だけでは基礎学力の定着が十分に図られていません。

そこで、夏休みの期間に、学習が定着できていない部分や分からないところをサポートするボランティアを募集します。

とき：・7月25日(土) 9:00-12:00 牧田会館 プレ教室

・8月3.4.5.6.7.11.17.18.19.20.21日 9:00-12:00 飯野小学校 宿題支援・基礎学力の定着

・8月29日(土) 9:00-12:00 牧田公民館 フォローアップ教室

申込み：7/16(木)までに、SIFA ホームページ・電話でご連絡ください。

【ボランティア説明会】 7月18日(土)10:00-11:30 ジェフリー鈴鹿 研修室にて

外国人の目から見た日本の風景 写真展

7月18日と19日、鈴鹿市役所1階市民ギャラリーにて、ブラジル・ペルー・ミャンマー国籍の6名の写真家による写真展を開催します。

テーマは、「外国人の目から見た日本の風景」。日本人とは違う視点で撮られている写真がどのようなものか、とても楽しみです！

お時間がありましたら、是非足をお運びください。



日本語ボランティア養成講座について

外国人の皆さんが日本語を学ぶ方法は、オンラインや日本語学校等いろいろありますが、地域の日本語教室が大きな役割を担っています。日本語教室には様々な国の方が学びに来るため、日本語で日本語を学習しています。日本に住んでいる外国人の数は、2019年6月の時点で約282万人。今や名古屋市の全人口よりも多いです。日本語の教え方を学んで、日本語教室や地域で外国人と交流してみませんか。

とき：10月1日～29日(毎週木曜日) 13:30-14:30

方法：Zoomを活用したオンラインセミナー

講師：舟橋宏代さん、棧敷まゆみさん、加納雅美さん

受講料：1,000円(5回分)

申込み：9月24日(木)までにお名前、住所、電話番号、日本語を教えた経験の

有無を書いて、メール・ファックスで鈴鹿国際交流協会へ

※本講座は、春に教室形式で予定していたものをオンラインに替えて実施いたします。



国際理解料理講座よりレシピ紹介！！

鈴鹿市では最近ベトナム人が増加しており、現在、外国人国籍人口では4番目です。家庭でもできるベトナム料理のフォーを紹介します。

ベトナム フォー (PHO)

| 材料 | |
|-----------|-------|
| 鶏がら | 1羽 |
| 鶏肉のもも骨付き | 2本 |
| 玉ねぎ | 2個(小) |
| 塩 | 小さじ1杯 |
| 大根 | 1/4個 |
| 青ネギ(葉味ネギ) | 4本 |
| もやし | 1袋 |
| しょうが | 1個 |
| 砂糖 | 大さじ1杯 |
| こしょう | 少々 |
| 麺 | 200g |
| ナンプラー | 少々 |
| フォー用だし | 18g |

- ① フォーの麺ともやしを茹でておく。
- ② 鍋に水を入れて熱し、鶏肉の骨、鶏もも肉、玉ねぎ、大根、しょうがを入れ、塩、コショウも加えて強火にかける。煮立ったら弱火にして、40分ほど煮こむ。
- ③ アクを取り、塩、砂糖、ナンプラー、だしを入れる。
- ④ もも鶏肉は柔らかく茹でて2cmぐらいに裂く。
- ⑤ 器にもやし、麺を入れ、鶏肉、玉ねぎ、青ネギを散らしてスープを加える。



公益財団法人鈴鹿国際交流協会 (SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸1-17-5 別館第3 TEL: 059-383-0724 FAX: 059-383-0639

✉ sifa@mecha.ne.jp URL: <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>